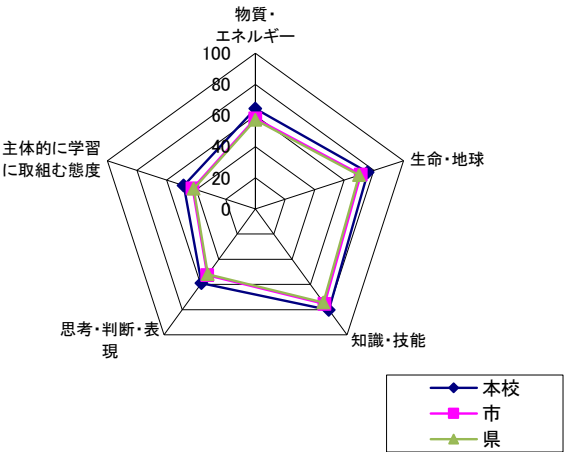


宇都宮市立横川中央小学校 第5学年【理科】 分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	64.4	58.1	57.2
	生命・地球	75.9	71.1	70.0
観点	知識・技能	80.3	75.5	74.4
	思考・判断・表現	59.1	52.7	51.9
	主体的に学習に取り組む態度	48.4	42.4	41.7



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の改善
物質・エネルギー	○平均正答率は64.4%で、県の平均を7.2ポイント上回った。 ○「電気のはたらき」の「乾電池を2個使って、乾電池が1個のときよりも速く走る車にするための回路を作図することができる。」の正答率は52.1%で、県よりも18.8ポイント上回っている。 ○「物の体積と温度」の「金属のふたを湯につけると開けやすくなる理由について、温度による金属の体積の変化をもとに記述できる。」の正答率は68.5%で、県よりも11.1ポイント上回っている。 ○「物のあたためり方」の「空気のあたためり方をもとに実験の結果を推測し、あたためられた空気の動き方について説明できる。」の正答率は71.2%で、県よりも15.4ポイント上回っている。	・全体的に、基礎的な知識や技能は定着している。今後も、実験に関する技能を身に付けるようにする。また、それらの変化を図や絵を用いて表現するなど、考えたり説明したりする活動の充実を図ることで、理解がより深まることができるようにする。
生命・地球	○平均正答率は75.9%で、県の平均を5.9ポイント上回った。 ○「天気のようにすと気温」の「気温をはかる条件を理解している。」の正答率は91.8%で、県よりも18.3ポイント上回っている。 ○「水のすがた」の「水を加熱する前に沸騰石を入れる理由を理解している。」の正答率は87.7%で、県よりも10.4ポイント上回っている。 ●「天気のようにすと気温」の「記録温度計の記録から、天気の変化を推測できる。」の正答率は23.3%で、県よりも8.1ポイント下回っている。 ●「水のすがた」の「湯気は液体であることを理解している。」の正答率は12.3%で、県よりも2.8ポイント下回っている。	・既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力、主体的に問題を解決しようとする態度の育成に重点を置いて授業を展開していく。 ・記録温度計の学習の際に、日付けだけでなく、日照時間も気温の変化に関係していることをおさえ、どの範囲の変化を読み取ればよいのか、理解できるようにしていく。 さらに、様々な季節や天候のグラフを読む練習をさせていく。 ・「水のすがた」の物質の気体、液体、個体の特徴が目で見えて確認できるように、日常生活に結び付けた実験を工夫し、実感が伴う理解につながるような授業の改善を図っていく。